

「文春学藝ライブラリー」

日本人と「日本病」について

山本七平・岸田秀

今も古びない「日本病」のカルテを示す

日本の構造的欠陥 を論じて日本病理の根幹に 鋭く迫る問題作！

日本ではなぜ会議ばかり開かれるのか
日本ではなぜ自民党が支持され続けるのか
日本はなぜ太平洋戦争でみじめな敗戦を喫したのか
主著『「空気」の研究』で日本人を覆う「空気」を
鋭く指摘した歴史学者・山本七平、
日本人は精神分裂的であると断じる歴史学者・岸田秀による
見解の相違が絡み合いながら展開する白熱の日本人論。
責任をとらない日本人の体質、
そして構造的欠陥を鋭く眼差し、
今も変わらず形を変えて現れ続ける
「日本病」の病理を徹底診断。
「病い」克服の道をも探ったカルテは
今も古びない広い射程をもっている

山本七平（やまもと・しちへい）

1921（大正10）－1991（平成3）年。東京都生まれ。昭和17年、青山学院卒業、即日入営。19年、ルソン島へ派遣され少尉にて終戦を迎える。戦後山本書店を創立、活発な評論活動を展開。主著に『「空気」の研究』『存亡の条件』『私の中の日本軍』『聖書の旅』『日本人とユダヤ人』（イザヤ・ベンダサン名義）などがある。

岸田秀（きした・しゅう）

1933（昭和8）年、香川県生れ。精神分析学者。早稲田大学文学部心理学科卒業。和光大学名誉教授。昭和52年、人間は本能の壊れた動物であり、「幻想」や「物語」に従って行動しているにすぎない、とする”史的唯幻論”を『ものぐさ精神分析』で披露しセンセーションを呼ぶ。主著に『二番煎じ ものぐさ精神分析』『史的唯幻論序説』などがある。

2014年 月 20日発売

定価 1090円＋税

文春学藝ライブラリー

ISBN 978-4-16-4 813040-3

文藝春秋

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町 3-23